

審査基準表

審査項目		審査内容	配点	点数
1	業務理解度・実績	委託業務の趣旨・コンセプトを十分理解した企画書となっているか。	5	
		過去に本業務と同等以上の業務実績があるか。	5	
2	企画・制作内容	映像の内容が神楽を魅力的に表現したものになっているか。	15	
		新しいアイデアや独自性のある提案や工夫がなされているか。	20	
		より臨場感を感じることができるような工夫がされているか。	15	
		VR を初めて体験する方でも簡単に安全に視聴できる工夫が示されているか。	5	
		仕様書に記載された以外で魅力的な提案があるか。	10	
		神楽の持続可能性が表現され、ターゲットとする若年層への PR 効果の高いチラシデザインであるか。	5	
3	実施体制・スケジュール	業務実施のスケジュールが現実的で遂行可能なものか。	5	
		業務を実施できる人員と体制が確保できているか。	5	
4	積算の妥当性	経費の積算に無駄がなく妥当であるか。	5	
		提案価格に優位性はあるか。 (配点(5点)×最低価格/提案価格)	5	
合計			100	

審査方法

- (1) 審査員は各審査項目について、審査の視点から総合的に審査する。
- (2) 全ての審査員の点数を合計し、最高点数の業者に決定する。
- (3) 審査の結果、合計点数が同じ場合は、以下の優先順位に従って業者を決定する。
 - ① 最高点（タイを含む）の採点をした審査員数が多い。
 - ② 最高点（タイを含まない）の採点をした審査員数が多い。
 - ③ 審査員が協議の上、業者を決定。
- (4) 提案者が1者の場合、提案者の合計点が満点（100点×審査員数）の6割に達したときは、最優秀提案者とする。